11月 図書便り

令和7年11月　植木北中学校図書室

秋の読書月間！

10月6日の「中秋の名月」を眺めそびれた人に朗報です。11月5日（水）、月が最も地球に近づくため、通常より最大約14%大きくて、約30%明るく見えるスーパームーンを見ることができます。ピンポイントだと、22時19分だそうです。もし、起きていたら、ちょっと夜空を見上げてみてはいかがですか。

さて、今年も「全国秋の読書月間」が始まっています。10月23日～11月23日までの1か月間を使って、書店やいろいろな場所で読書のすばらしさを伝えるイベントが予定されています。植木北中の図書室でも「読書ビンゴ」を行っています。また、先日は 1 年生を対象に「味見読書」を行いました。3冊の本を5分間だけ読むというものです。真剣に読んでいる姿が印象的でした。この機会に、いろいろな本を手に取ってもらえるとうれしいです。

「読書ビンゴ」盛況です！

10月14日に始まった「読書ビンゴ」。その仕組みは・・・図書委員が選んだ項目の本を借りると、カードにスタンプが押されます。スタンプが縦・横・斜めのいずれかが4つ揃うと、「ビンゴ」になります。ビンゴを達成するごとに、お守りを1つゲットできるというものです。すでに、お守り5種類をコンプリートした人もいます。お守りがなくなり次第終了ですので、お早めに！

項目に合わせて本を探すことになるので、いつもは読まないような本にも手が伸びています。視野を広げることは大事ですね。小説の中にも怖い話があったり、胸がキュンキュンする話があったり、胸躍る冒険の話があったりと、多岐にわたっています。また、スポーツ関係の本もあるし、料理の本や動物の本もあります。歴史を漫画で学ぶこともできるし、気持ちをおだやかにしてくれるエッセイにも触れることができます。本の世界はどんどん広がります。ぜひ、図書室に来てください。

そして、「ボクたちの推し本　総選挙」へ

「読書ビンゴ」の後は、たくさんの本を読んだ今だからこそ、どんな本が心に残ったのか、アンケートを取りたいと思います。題して、「ボクたちの推し本　総選挙」!! ぜひ投票して、推し本を広げていきましょう。

☆☆☆イベントの参加方法☆☆☆

① ロイロノート⇒国語⇒「推し本　総選挙」から、自分の好きな本のタイトルを1～3 冊入力するだけです。

② 余裕がある人は、その本への熱い思いを「推し文」として入力してください。

あなたの投票した推し本が1位になったら、放送で発表した時に「バンザ～イ」と一緒に喜んでくださいね。

思わず読みたくなるような「推し文」を書いた人には、表彰状＋景品があります。また、「推し文」を本の帯にして貸し出します。「読書月間」だからこそ、『読書ビンゴ』→『押し本　総選挙』といったイベントで、みんなで盛り上げていきましょう！

司書の推し本

「ひとりじゃないよ」　高浜晃　日本文学館

国語科の高濱先生が書かれた本です。「目が見えないと不便なことはあるけど、私たちは不幸じゃないんだよ。」という言葉が心にしみる「おばあさんの灯」など、5つの作品が載っていますが、どれも引き込まれて、あっという間に読んでしまいます。そこで、**著者である高濱先生にインタビューしてみました。**

① なぜ、タイトルを「ひとりじゃないよ」にしたのですか？

すべての物語が一つのテーマに向かっています。それが「ひとりじゃないよ」ということだったのです。読んで、感じてくれたらうれしいです。（表紙の絵も、高濱先生が描かれたものだそうです。実は、絵もお上手です！）

② 作品を書かれた時のエピソードを教えてください。

つい難しい言葉をつかってしまい、編集者にダメ出しをくっていました。いかに分かりやすい言葉にするか、とても苦労しました。

本は、読み手を意識して書かれているのですね。高濱先生の思いがつまった「ひとりじゃないよ」は、書店では手に入らない貴重な本です。ぜひ、手に取って、読んでみてください。